

2024年



2月

# 草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会  
発行人 佐竹康行  
〒461-0004  
名古屋市中区葵1-22-26  
Tel(052)932-3219  
Fax(052)931-2651  
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp  
毎月1回 6日発行  
月40円/年間480円

被爆80年に向け、世界の平和秩序  
再建と新たな発展の年に  
反核・平和新春のつどい



## 外交の欠如が 戦争につながる

たこと、NATO加盟国のドイツ、ベルギー、ノルウェーがオブザーバーとして参加したことなどが紹介され、「被爆80年に向け、反核・平和の運動を広げていきましょう」と開会のあいさつがありました。

1月7日(日)、愛知県平和委員会、安保破壊実行委員会、非核の政府を求める会、愛知県原水協の平和4団体の共催で「反核・平和新春のつどい」を民主会館で開催しました。会場とオンライン合わせて70名が参加しました。

はじめに大村愛知県原水協代表理事から、核兵器禁止条約の第2回締約国会議に参加して、会議の宣言の中で「核抑止力論の打破」が打ち出され



次に日本平和委員会常任理事の川田忠明さんを講師に「被爆80年に向けて—非核・平和の世界と日本の展望を考える」と題し、記念講演が行われました。川田さんは最初に、2024年という年について「被爆80年に向かう年であり、ビキニ被災から

70年。世界の平和秩序再建と新たな発展の年に」と語りました。

パレスチナ・中東問題から分かることは、イスラエル軍とハマスの軍事部門には圧倒的な戦力差がある中で、ハマスはイスラエルからの大規模な攻撃を予想しながらも攻撃を行ったのではないかと話し、「核保有国が主張している抑止力で、攻撃を防ぐことはできなかった」と、核抑止力論を批判しました。また、1993年のオスロ合意にいたるまでの経緯やその後、交渉が進まなかったことなどを振り返りながら、「2006年に自治評議会選挙で第1党となったハマスをイスラエルとアメリカがテロリストとして認定したために、交渉・対話が不可能になってしまった」と、外交の欠如が戦争につながるという語りがありました。



と前回棄権した国のうち日本を含め26か国が賛成に回ったことを考え、「これまでのように安保理任せではないにせよ、国連総会の力を強めようとする国々と平和を求める国際社会の力が変化を起している。大国だけの世界ではない事がはつきりと示された」と語りました。

いま平和運動は何をすべきかについて、「矛盾が極限に達した自公政治を変えること」と話し、安保3文書で進められている戦争国家づくりを阻止すること、そのために「憲法を活かした安全保障」の提案をきちんと示し、平和への展望を広げることが大切と語りました。

## 新年の抱負と 活動交流も

活動交流では、栄でロシアのウクライナ侵略に抗議するスタンディングを毎月行い、その中で新しく参加者同士のつなが



りが生まれていること、自衛隊への名簿提供を止めるよう自治体に要請したことなどの活動報告があり、敵基地攻撃能力強化によって、愛知が軍事産業の拠点化が進んでいることや名古屋空襲の日制定を求めて活動している高校生と一緒に何かできないか、高齢となつてくる被爆者の支援をするために地域と被爆者のつながりを作っていくなど、などの課題や抱負が語られました。

第2部の交流会では、食事をしながら平和への思いや今年の抱負などを語りながら交流しました。文化企画として金本弘愛友会理事長がピアノの演奏を披露し、全員で「原爆を許すまじ」を合唱しました。

1月1日、能登半島で最大震度7の地震が発生しました。被害の状況は報道などで知っていますが、も多いと思いますが、もう一つ忘れてならないのは原発の存在です。能登半島の中程にある志賀原発では震度5弱相当と発表さ、地震によって変圧器から油が漏れ出しました。漏れた油の量は最初3500リットルと発表されましたが、その後1万9800リットルと5倍以上に訂正されました。津波に關しても「水位に変化なし」と発表されたものの約3メートルの津波が観測されていたことが分かり、訂正されました。燃料プール内の水漏れ(約326リットル)、防潮堤や敷地内でも地盤沈下や傾き、段差の発生が起きています。モニタリングポストもデータの通信ができず、観測できない地域が生まれま

草ノート

(D)

毎年恒例の元旦宣伝・地域でも署名と能登半島支援募金を訴える



2024年1月1日、毎年恒例の元旦署名・宣伝行動を熱田神宮東側で12時から13時まで行いました。少し風は冷たいものの、元旦とは思えないほど気温が高く、あたたかい日でした。

コロナ禍が過ぎ、熱田神宮へ初詣に訪れる人はコロナ前と変わらないぐらいの人数でした。行動には愛知県平和委員会、新婦人、県原水協が参加する愛知県民の会と安破棄実行委員会から合わせて12人が参加し、署名は16筆が集まりました。

1日でも早い日本の核兵器禁止条約の参加を訴えるとともに、イスラエルによるガザでのジェノサイドを即時停止し、双方の対話によって解決を図るべきだと訴えました。



瀬戸では、参加者7名で署名・宣伝行動を行い、署名とカンパは人通り少



対話した若い世代のお母さんは、「ガザの問題は胸がいたい。力になりたい」と署名に応じていただきました。

◆1月6日 犬山駅で署名と募金活動を行い、参加者は13名、署名が17筆、救援募金21,241円が寄せられました。(犬山・水野)

なく7筆、2,101円でした。21歳の若者がカンパしてくれて盛り上がりました。チラシを入れたティッシュは、いつもと同じく頑張って1000配布完了しました。途中、小雨に降られましたが、大したことなく良かったです。(瀬戸・須田)



◆1月7日 名古屋東北原水協の69行動は、夕方に大曽根駅前で、5名の参加で行いました。署名は8名分、能登半島地震救援募金は4,585円集まりました。(東北・長尾)



新婦人尾張旭支部で行



動しました。わざわざ買い物帰りの車から降りて震災募金をしてください。た方もいて、感動しました。8名の参加で署名1筆、募金は14,263円でした。(尾張旭・藤崎)

条約発効3周年記念行動 今年こそ日本政府が批准を

1月21日(日)、核兵器禁止条約の発効から3年を記念し、日本政府に



核兵器禁止条約への参加を求める愛知県民の会が名古屋・栄で署名・宣伝行動を行いました。愛友会の金本理事長はじめ3名の被爆者、コープあいち、愛知のうたごえ協議会、愛知県平和委員会、あま東部平和委員会、愛知県原水協から14名が行動に参加し、12時から1時間行動しました。「世界で93か国が参加している核兵器禁止条約に日本も参加を」と声をかけ、チラシを配りながら署名を訴えました。自

稲沢市では、二十歳のつどい(旧成人式)の会場前で原爆と人間パネルを展示しながら、署名と支援募金を行いました。13名が参加して行いましたが、風が強く署名を集めるのが大変でした。(稲沢・山岸・服部)



2024年愛知県原水協定期総会 お知らせ
2月18日(日) 場所:民主会館2階会議室
10:30~12:00 記念講演 「被爆80年に向けて ~平和の準備を世論の多数に」 講師 石川康宏さん (神戸女学院大学名誉教授)
13:00~16:00 定期総会 ※Zoomで参加を希望される方は gensuikyo@lime.ocn.ne.jp に申し込んでください

被災70年 3・1ピキニデー 学習パンフレット
2024年はピキニ水爆被災70年です。3・1ピキニデーを被爆国の日本政府が、核兵器禁止条約に参加し、核兵器の廃絶へ世界をリードする役割を果たすよう、行動の出発点にしましょう!
●B5版(16ページ)4色刷
●頒価220円(送料実費)

転車で通りかかった中学生やチラシを受け取った人が引き返して署名をしてくれましたが、直前まで雨が降っていたこともあり、署名は7筆と少なめでした。スピーチでは、愛友会の金本理事長が、「この核兵器禁止条約は、被爆者が60年以上訴え続けて実現した。日本政府こそ早く参加してほしい」と訴えました。コープあいち、平和委員会の参加者もマイクを握り、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルによるガザのジェノサイドに抗議しつつ、「核抑止力論では平和は築けない」「日本こそ禁止条約に参加し、核兵器廃絶の先頭に立つべきだ」

と街ゆく人に訴えました。金本さんは、「最近色々な場でこの歌を歌うようにしている」と「原爆を許すまじ」を3番まで歌い、愛知のうたごえのみなさんは「折り鶴」「ヒロシマの有る国で」を歌い、宣伝行動を賑わせました。

